



生活の中での体験



園の生活の中で、季節の食材や植物に触れる時間を大切にしています。子どもたちは、見て・触れて・感じて・味わうといった体験を通して、五感を使いながら多くのことを吸収しています。生活の中での経験は、自然への親しみや興味を育てています。

目がしみる～



ざらざらしてるね～



何枚あるのかな？



《自然に触れる体験》

春は、たけのこやたまねぎ、さやえんどうなどの皮むきなど、季節ならではの体験を楽しんでいます。食材を入れるかご、皮を入れるもの、むき終わった食材を入れるかごを準備し、子どもたちは自分で選択し活動を行います。

《生活の中での体験》

- 手洗やコップに水を注ぐ、雑巾しぼりなど、水の冷たさや量の変化を感じながら、手首や指先の使い方、力加減が身につきます。
- 野菜を洗う、机を拭くなど、汚れがきれいになる過程を見ることで、達成感や「きれいにする気持ち」が育ちます。

こうした日常の小さな経験も、子どもたちにとって、とても大きな体験です。これからも、子どもたちが生活の中での体験を通して、自ら関わろうとする気持ちを大切にしながら、一人ひとりの育ちを丁寧に見守っていきたいと思います。